

1)新規採用医薬品

なし

2)仮採用医薬品

医薬品名	効能・効果	用法・用量
ニトロールスプレー1.25mg (硝酸イソソルビド) 狭心症発作寛解用口腔内スプレー剤 薬価:834.30 円/1 瓶 エーザイ	<効能効果>狭心症発作の寛解 <用法用量>通常、成人には、1 回 1 噴霧(1.25mg)を口腔内に投与する。なお、効果不十分の場合には、1 回 1 噴霧にかぎり追加する。 <説明文>狭心症の発作をしずめるスプレー薬です。口の中にスプレーします。	
イノソリッド配合経腸用半固形剤 300g 半固形型経腸栄養剤 薬価:14.40 円/10g、432 円/300g1 袋 大塚製薬工場	<効能効果>一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用する。 <用法用量>通常、成人標準量として 1 日 900～1,500g(900～1,500kcal)を胃瘻より胃内に 1 日数回に分けて投与する。投与時間は 100g 当たり 2～4 分(300g 当たり 6～12 分)とし、1 回の最大投与量は 600g とする。 また、初めて投与する場合は、投与後によく観察を行い臨床症状に注意しながら増量して数日で標準量に達するようにする。 なお、年齢、体重、症状及び栄養状態により投与量、投与時間を適宜増減する。 <説明文>食事の摂取が困難なときの栄養補給に用いられます。	

3)剤型・規格 変更/追加 医薬品

剤型変更追加・メーカー変更薬	既採用薬	備考
デエビゴ錠 10mg	デエビゴ錠 5mg	
レキサルティ OD 錠 0.5mg	レキサルティ OD 錠 2mg	適応追加:アルツハイマー型認知症に伴う焦燥感、易刺激性、興奮に起因する、過活動又は攻撃的言動
水溶性ハイドロコートン注射液 100mg ※適応:外科的ショックおよびショック様状態における救急、 または術中・術後のショックのみ	ソル・コーテフ注射用 100mg	ソル・コーテフ供給不良
イントラリポス輸液 20% 100mL	イントラリポス輸液 10%250mL イントラリポス輸液 20%250mL	

4)メーカー変更医薬品・後発品変更医薬品

医薬品名	既採用薬	備考
アブレピタントカプセル 80mg「NK」 アブレピタントカプセル 125mg「NK」	イメンドカプセル 80mg イメンドカプセル 125mg	2026.3.31 経過措置
ランマーク HI 皮下注 120mg シリンジ 1.0mL	ランマーク皮下注 120mg	
リユープロレリン酢酸塩注射用キット 3.75mg「NP」	リユープロレリン酢酸塩注射用キット 3.75mg 「あすか」	
エタネルセプト BS 皮下注 25mg シリンジ 0.5mL「MA」	エンブレル皮下注 25mg シリンジ・ペン 0.5mL	

エタネルセプトBS皮下注 50mg シリンジ 1.0mL「MA」	エンブレル皮下注 50mg シリンジ・ペン 1.0mL	
インスリン リスプロ BS 注ノロスターHU「サノフィ」	ヒューマログ注ミリオペン	
ピコスルファートナトリウム内用液 0.75%「イワキ」	ラキソベロン内用液 0.75%	
ベラプロスト Na 錠 20 μ g「サワイ」	プロサイリン錠 20	
ビルダグリブチン錠 50mg「ニプロ」	エクア錠 50mg	
イフェンプロジル酒石酸塩錠 20mg「あすか」	セロクラール錠 20mg	
ベラパミル塩酸塩錠 40mg「タイヨー」	ワゾラン錠 40mg	
ニセルゴリン錠 5mg「サワイ」	サアミオン錠 5mg	
ペリンドプリルエルブミン錠 2mg「サワイ」	コバシル錠 2mg	
ペリンドプリルエルブミン錠 4mg「サワイ」	コバシル錠 4mg	
オセルタミビル DS3%「サワイ」	タミフルドライシロップ 3%	
メトロナゾールゲル 0.75%「マルイシ」	ロゼックスゲル 0.75%	

5) 院外限定採用医薬品 (剤型追加)

医薬品名	効能・効果	用法・用量
マンジャロ皮下注 7.5mg アテオス マンジャロ皮下注 10mg アテオス マンジャロ皮下注 12.5mg アテオス マンジャロ皮下注 15mg アテオス (チルゼパチド) 持続性 GIP/GLP-1 受容体作動薬 薬価: 5,772 円/7.5 mg 1 キット 7,696 円/10 mg 1 キット 9,620 円/12.5 mg 1 キット 11,544 円/15 mg 1 キット 田辺三菱	〈効能効果〉2 型糖尿病 〈用法用量〉通常、成人には、週 1 回 5mg を維持用量とし、皮下注射する。ただし、週 1 回 2.5mg から開始し、4 週間投与した後、週 1 回 5mg に増量する。なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、週 1 回 5mg で効果不十分な場合は、4 週間以上の間隔で 2.5mg ずつ増量できる。ただし、最大用量は週 1 回 15mg までとする。	
アレサガテープ 8mg (エメダスチンフマル酸塩) 経皮吸収型 アレルギー性鼻炎治療剤 薬価: 72.10 円/8 mg 1 枚 久光製薬	〈効能効果〉アレルギー性鼻炎 〈用法用量〉通常、成人には 1 回 4mg を胸部、上腕部、背部又は腹部のいずれかに貼付し、24 時間毎に貼り替える。なお、症状に応じて 1 回 8mg に増量できる。	
ロコアテープ (エスフルルビプロフェン) 経皮吸収型鎮痛消炎剤 薬価: 33.30/1 枚、233.1 円/7 枚 1 袋 大正製薬	〈効能効果〉変形性関節症における鎮痛・消炎 〈用法用量〉1 日 1 回、患部に貼付する。同時に 2 枚を超えて貼付しないこと。	

医薬品名	備考
ヒューマログミックス 25 注ミリオペン	採用薬からの切り替え
ビクトーザ皮下注 18mg	
マンジャロ皮下注 2.5mg アテオス	
オゼンピック皮下注 2mg	
フォルテオ皮下注キット 600 μ g	
モーラステープ 20mg	
ニトロダーム TTS25mg	

ニュープロパッチ 2.25g・4.5mg・18 mg	採用薬からの切り替え
デルモベートスカルプローション 0.05%	
リマチル錠 50mg・100 mg	
チウラジール錠 50mg	
アジルサルタン錠 10mg「武田テバ」	

6) 患者限定採用医薬品

医薬品名	効能・効果	用法・用量
シザナリン配合点滴静注液 2mL (塩化第二鉄・塩化マンガン・日本薬局方硫酸亜鉛水和物・硫酸銅・日本薬局方ヨウ化カリウム) 高カロリー輸液用微量元素製剤 薬価:61 円/2mL1 管 日新製薬	〈効能効果〉経口、経腸管栄養補給が不能又は不十分で高カロリー静脈栄養に頼らざるを得ない場合の亜鉛、鉄、銅、マンガン及びヨウ素の補給 〈用法用量〉通常、成人には1 日 2mL を高カロリー静脈栄養輸液に添加し、点滴静注する。なお、年齢、症状に応じて適宜増減する。	
レスキュラ点眼液 0.12% 5mL (イソプロピルウノプロストン) プロスタグランジン系緑内障治療剤 薬価:186.60 円/mL、933 円/5mL1 本 日東メディック	〈効能効果〉緑内障、高眼圧症 〈用法用量〉通常、1 回 1 滴、1 日 2 回点眼する。	
メスチノン錠 60mg (ピリドスチグミン臭化物) コリンエステラーゼ阻害薬 薬価:16.30 円/1 錠 共和薬品工業	〈効能効果〉重症筋無力症 〈用法用量〉通常成人 1 日 3 錠を 1 日 3 回に分けて経口投与する。ただし、医師の監督下に症状に応じて、適宜、用量および服用回数を増減することができる。	
グルコンサン K 錠 5mEq (グルコン酸カリウム) カリウム補給剤 薬価:6.90/1 錠 サンファーマ	〈効能効果〉低カリウム状態時のカリウム補給 〈用法用量〉1 回カリウム 10mEq 相当量 1 日 3～4 回経口投与。症状により適宜増減する。	
ネスブ注射液 180 μ g プラシリンジ (ダルベポエチンアルファ(遺伝子組換え)) 持続型赤血球造血刺激因子製剤 薬価:12,376 円/1 シリンジ 協和キリン	〈効能効果〉腎性貧血 骨髄異形成症候群に伴う貧血 〈用法用量〉省略	
アイビーディカプセル 100 (スプラタストシル酸塩) アレルギー性疾患治療剤 薬価:14.30 円/1 カプセル 大鵬薬品	〈効能効果〉気管支喘息 アトピー性皮膚炎 アレルギー性鼻炎 〈用法用量〉通常、成人には 1 回 100mg を 1 日 3 回毎食後に経口投与する。ただし、年齢、症状により適宜増減する。	
生理食塩液 PL「フソー」 2000mL パック (生理食塩液) 電解質輸液 薬価:552 円/2000mL1 袋 扶桑薬品工業	〈効能効果・用法用量〉省略	
アダリムマブ BS 皮下注 40mg ペン 0.8mL「FKB」	〈効能効果・用法用量〉既存治療で効果不十分な下記疾患●関節リウマチ:通常、成人には 40mg を 2 週に 1 回、皮下注射する。なお、効果不十分な場合、1 回 80mg まで増量で	

(アダリムマブ(遺伝子組換え)) ヒト型抗ヒト TNF α モノクローナル抗体 製剤 薬価:18,636/1 キット サンド	きる。●尋常性乾癬、乾癬性関節炎、膿疱性乾癬:通常、成人には初回に 80mg を皮下注射し、以後 2 週に 1 回、40mg を皮下注射する。なお、効果不十分な場合には 1 回 80mg まで増量できる。●強直性脊椎炎:通常、成人には 40mg を 2 週に 1 回、皮下注射する。なお、効果不十分な場合、1 回 80mg まで増量できる。●X 線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎:通常、成人には 40mg を 2 週に 1 回、皮下注射する。●多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎:通常、体重 15kg 以上 30kg 未満の場合は 20mg を、体重 30kg 以上の場合は 40mg を 2 週に 1 回、皮下注射する。●腸管型ベーチェット病:通常、成人には初回に 160mg を、初回投与 2 週間後に 80mg を皮下注射する。初回投与 4 週間後以降は、40mg を 2 週に 1 回、皮下注射する。●クローン病:通常、成人には初回に 160mg を、初回投与 2 週間後に 80mg を皮下注射する。初回投与 4 週間後以降は、40mg を 2 週に 1 回、皮下注射する。なお、効果が減弱した場合には 1 回 80mg に増量できる。●潰瘍性大腸炎:通常、成人には初回に 160mg を、初回投与 2 週間後に 80mg を皮下注射する。初回投与 4 週間後以降は、40mg を 2 週に 1 回、皮下注射する。なお、初回投与 4 週間後以降は、患者の状態に応じて 40mg を毎週 1 回又は 80mg を 2 週に 1 回、皮下注射することもできる。●非感染性の中間部、後部又は汎ぶどう膜炎:通常、成人には初回に 80mg を、初回投与 1 週間後に 40mg を皮下注射する。初回投与 3 週間後以降は、40mg を 2 週に 1 回、皮下注射する。
---	--

医薬品名	備考
テオドール錠 100mg	採用薬からの切り替え
ラコール NF 配合経腸用半固形剤	
アクテムラ皮下注 162mg オートインジェクター	
ハルシオン 0.25mg 錠	
ヒューマログ注ミリオペン	

7) 削除医薬品

医薬品名	備考
ラキシベロン内用液 0.75%	ピコスルファートナトリウム内用液 0.75%「イワキ」 に切り替え
イメンドカプセル 80mg	アプレピタントカプセル 80mg「NK」 に切り替え
イメンドカプセル 125mg	アプレピタントカプセル 125mg「NK」 に切り替え
リュープロレリン酢酸塩注射用キット 3.75mg「あすか」	リュープロレリン酢酸塩注射用キット 3.75mg「NP」 に切り替え
プロサイリン錠 20	ベラプロスト Na 錠 20 μ g「サワイ」 に切り替え
エクア錠 50mg	ビルダグリプチン錠 50mg「ニプロ」 に切り替え
セロクラール錠 20mg	イフェンプロジル酒石酸塩錠 20mg「あすか」 に切り替え
ワソラン錠 40mg	ベラパミル塩酸塩錠 40mg「タイヨー」 に切り替え
サアミオン錠 5mg	ニセルゴリン錠 5mg「サワイ」 に切り替え
エンブレル皮下注 25mg シリンジ 0.5mL	エタネルセプト BS 皮下注 25mg シリンジ 0.5mL「MA」 に切り替え
エンブレル皮下注 50mg シリンジ 1.0mL	エタネルセプト BS 皮下注 50mg シリンジ 1.0mL「MA」 に切り替え
ヒューマログ注ミリオペン(一旦患者限定へ)	インスリン リスプロ BS 注ノロスター HU「サノフィ」 に切り替え
イントラリボス輸液 10%250mL	イントラリボス輸液 20% 100mL に切り替え
イントラリボス輸液 20%250mL	
ミネリック-5 配合点滴静注シリンジ	2025.3.31 経過措置満了 シザナリン配合点滴静注液採用
リキスミア皮下注 300 μ g	2025.3.31 経過措置満了
アブレース錠 100mg	2025.3.31 経過措置満了
フルルバンパップ 40mg	2025.3.31 経過措置満了
フルコートスプレー0.007%	2026.3.31 経過措置

グルコンサン K 錠 5mEq	2025.7 頃販売中止
ヒューマログミックス 50 注ミリオペン	使用実績なし
メキシチールカプセル 50mg	使用実績なし
エルカルチン FF 内用液 10%分包 5mL	使用実績なし
アセモトール(院内製剤)	原料の酸化亜鉛供給不良

8) がん化学療法レジメン追加について

なし

9) その他

患者限定解除 : アミティーザカプセル 12 μ g、スインプロイク錠 0.2mg・ツートラム 50 mg・ビムパット 100 mg

セレコックス錠 100mg : 後発品セレコキシブで副作用訴えのある患者に選定療養の患者限定で再採用

10) 効能効果等の改訂のお知らせ (2025.3～2025.6)

リツキサン点滴静注 100mg、500mg	小児期発症の難治性に至っていない頻回再発型あるいはステロイド依存性のネフローゼ症候群に対する効能等追加
オテズラ錠 10mg、20mg、30mg	局所療法で効果不十分な掌蹠膿疱症に対する効能等追加

11) 禁忌・併用禁忌・使用上の注意の改訂のお知らせ (2025.3～2025.6)

エリキュース	【効能又は効果に関連する注意】「アミバンタマブとラゼルチニブとの併用投与による静脈血栓塞栓症の発症抑制を目的とした本剤の投与においては、アミバンタマブ及びラゼルチニブの電子添文を参照する旨」追記
パキロビッド	【禁忌】【併用禁忌】「エンザルタミド(イクスタンジ)」追記
イクスタンジ	【禁忌】【併用禁忌】「ニルマトレルビル・リトナビル(パキロビッド)」追記
ツイミグ	【効能又は効果に関連する注意】「腎機能障害患者の記載」削除 【用法及び用量に関連する注意(新設)】:「腎機能障害を有する患者への投与における注意事項、及び eGFR が 10mL/min/1.73m ² 未満の腎機能障害を有する患者には投与は推奨されない旨」追記 【重要な基本的注意】「eGFR が 15mL/min/1.73m ² 未満の腎機能障害を有する患者への投与時の注意」追記 【特定の背景を有する患者に関する注意】腎機能障害患者の項:投与が推奨されない腎機能障害患者の範囲を eGFR が 45mL/min/1.73m ² 未満の患者から 10mL/min/1.73m ² 未満の患者へ変更、「eGFR が 10mL/min/1.73m ² 以上 45mL/min/1.73m ² 未満の腎機能障害を有する患者への投与時の注意」追記
カルボプラチン「NK」	【効能又は効果に関連する注意】切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫の項:「ペムブロリズマブ(遺伝子組換え)及びペメトレキセドナトリウムと併用する際の用法及び用量は、ペムブロリズマブ(遺伝子組換え)の電子添文を参照すること」追記
イトリゾール	【禁忌】「リオシグアト(アデムパス)」削除 【併用禁忌】「リオシグアト(アデムパス)」を削除し、【併用注意】に追記
ブイフェンド	【禁忌】「エブレノン(セララ)」追記 【併用禁忌】「エブレノン(セララ)」追記
セララ	【禁忌】「ポリコナゾール(ブイフェンド)、ポサコナゾール(ノクサフィル)」追記

	【併用禁忌】「ポリコナゾール(ブイフェンド)、ポサコナゾール(ノクサフィル)」追記
ナウゼリン	【禁忌】「妊婦又は妊娠している可能性のある女性」削除 【特定の背景を有する患者に関する注意】妊婦の項:妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対する注意を、「投与しないこと」から「治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること」に変更
プレミネット	【重要な基本的注意】「急性近視、閉塞隅角緑内障、脈絡膜滲出に関する注意」追記 【重大な副作用】「脈絡膜滲出」
ナトリックス	【重要な基本的注意】「急性近視、閉塞隅角緑内障、脈絡膜滲出に関する注意」追記 【重大な副作用】「急性近視、閉塞隅角緑内障、脈絡膜滲出」追記
フルイトラン	【その他の注意】臨床使用に基づく情報の項:「他のチアジド系薬剤において、急性近視、閉塞隅角緑内障、脈絡膜滲出があらわれたとの報告がある」追記
ダイアモックス	【重要な基本的注意】「急性近視、閉塞隅角緑内障、脈絡膜滲出に関する注意」追記 【重大な副作用】「急性近視、閉塞隅角緑内障、脈絡膜滲出」追記
メルカゾール	【重大な副作用】「急性膵炎」追記
デスモプレシン点鼻スプレー	【特定の背景を有する患者に関する注意】合併症・既往歴等のある患者の項:本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者について、「治療上やむを得ないと判断される場合を除き、投与しないこと」等追記 【重大な副作用】「アナフィラキシー」追記
ミニリンメルト	【重大な副作用】「アナフィラキシー」追記

12)院内副作用報告 (2025.3～2025.6)

【当院処方事例のみ記載】

ボナロン	下痢
トアラセット	嘔気・めまい・ふらつき